

【準備物】

- (1) ALCリペア
 - (2) 水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
 - (3) プライマー ※市販品で可
 - (4) 練り混ぜ容器（トロ箱、ペール缶）
 - (5) ミキサー（モルタルミキサー、ハンドミキサー）
 - (6) 水ため容器（ドラム缶、バケツ）
 - (7) 計量容器（小バケツ）
 - (8) 鋺
- ※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

下地処理

1. 施工する箇所の浮いた部分を除去し、ワイヤーブラシやダスター刷毛等で丁寧に掃除をしてください。
2. プライマー（市販品）を2～4倍に希釈して、施工箇所に塗布してください。
プライマーが完全に乾燥するまで、水やほこりが付着しないように養生をしてください。

※プライマーについて

プライマーはアクリル系エマルジョン樹脂を推奨しております。
エチレン酢ビ系樹脂をお使いの場合は、数度重ねてしっかりと塗ってください。

【練り混ぜ】

- ・モルタルミキサーで練り混ぜる場合は、本製品をモルタルミキサーに入れ、ミキサーを回転させながら清浄な水を所定量加え、希望する軟らかさになる様に本製品と水の量を調整してむら無く練り混ぜます。
- ・ハンドミキサーで練り混ぜる場合は、練り混ぜ容器に所定量の清浄な水を入れ、本製品の半分を入れて練り混ぜます。よく練り混ぜたら本製品の残りの半分を入れ、さらによく練り混ぜます。

【施工】（工法別）

●薄塗り工法

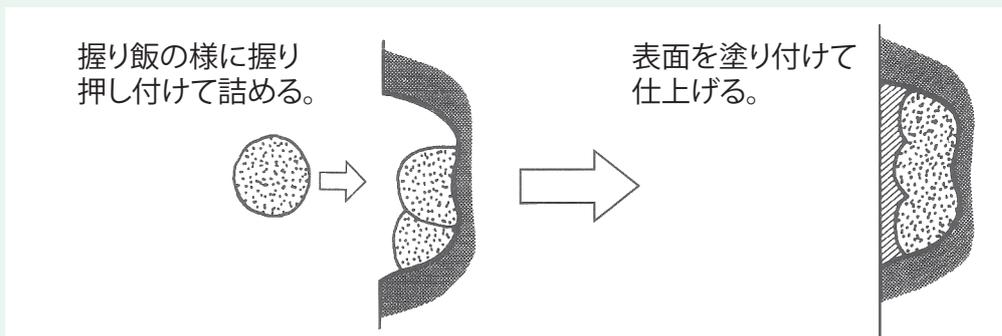
所定の厚さに塗り付け、水が引いて締まった状態になったら、鑊や鋸歯などで削って表面を平らにします。

●厚塗り工法

- 1.下地に強く塗り付けます。
- 2.続いて所定の厚さに塗り付け、適度に締まるまで待ちます。
- 3.鑊や鋸歯などで削って表面を平らにします。

●厚付け工法

- 1.下地に強く塗り付けます。シゴキ付ける様に塗り付けて下さい。
- 2.少し硬めに練り混ぜた「ALCリペア」を握り飯の様に握り、押し付けて詰め込みます。
- 3.表面の5～10mmは「厚塗り工法」と同様に施工します。



●仕上げ

ALCリペアが少し締まった状態になった時に木鑊ですり、ALCと同じような表面にしてください。また、鋸歯などで仕上げる場合は、少し硬くなってから行ってください。

【養生】

施工が完了したら乾燥や凍結を防止し、適温・適湿な状態で1週間以上養生します。

【注意事項】

薄塗りの場合はドライアウトにご注意ください。また、広い範囲に施工する場合はひび割れにご注意ください。この場合、目地を設ける等の対策を行ってください。